



J R 連 合 N E W S

J R 産 業 に 集 う
す べ て の 仲 間 の
J R 連 合 へ の
総 結 集 を !!

2023 年 度

N o . 1 3

2023年7月19日

日本鉄道労働組合連合会

J R 連 合 中 国 地 協 第 3 1 回 定 期 総 会

今こそ世話役活動で『絆』を深めよう！

J R 連 合 中 国 地 方 協 議 会 は、7 月 3 日、「米子ワシントンホテルプラザ」において第 31 回定期総会を開催し、向こう 1 年間の方針を決定した。会場には中国エリアの各単組から約 30 名が集結した。



冒頭、中国地協を代表して大瀧浩二議長（J R 西 労 組 岡 山 地 本 執 行 委 員 長）が挨拶に立ち、安全の確立、2023 春闘、組織の充実・強化、取り巻く環境の変化に伴う政策課題等について述べ、「会社組織は再編をしているが、労働組合としては仲間意識を大切に、世話役活動に引き続き取り組もう」と各単組での取り組みを改めて要請した。

J R 連 合 か ら は 宮 野 勇 馬 企 画 局 長 が 出 席 し、交 運 共 済 の こ く み ん 共 済 c o o p へ の 契 約 移 転 に 関 す る 取 り 組 み へ の お 礼 を 述 べ る と と も に、「確 認 会 話」な どの 安 全 確 立 の 取 り 組 み や、地 方 路 線 に 関 す る 現 状 と 課 題、物 流 や 建 設 現 場 に お け る 2 0 2 4 年 問 題 へ の 対 応 や、積 年 の 課 題 で あ る J R 連 合 へ の 総 結 集 な ど、昨 今 の J R 連 合 の 取 り 組 み を 共 有 し、J R 連 合 へ の 一 層 の 結 集 を 呼 び か け た。

J R 西 労 組 か ら は 福 本 英 治 企 画 部 長 ら が 出 席 し、代 表 し て 福 本 部 長 は、安 全、労 働 条 件、組 織 課 題 に つ い て 触 れ、「コ ロ ナ 禍 で 人 間 関 係 が 希 薄 に な っ て し ま っ た。組 合 員 の 声 を 集 め る た め に も、コ ロ ナ 禍 前 の よ う な 濃 密 な 人 間 関 係 を 取 り 戻 し、『絆』を 深 め よ う」と 団 結 を 呼 び か け た。

議 案 と し て、石 松 大 介 事 務 局 長（J R 西 労 組 広 島 地 本 執 行 委 員 長）か ら 運 動 方 針 な ど が 一 括 で 提 起 さ れ た 後、質 疑 応 答 に お い て 青 女 役 員 か ら「本 年 10 月 に 地 協 で 3 年 ぶ り に レ ク を す る の で、グ ル ー プ 労 組 含 め、若 手 に 声 掛 け を お 願 い し た い」「離 職 防 止 の 取 り 組 み を 引 き 続 き お 願 い し た い」な どの 発 言 が あ り、答 弁 の 後、満 場 一 致 で 確 認 さ れ た。

役 員 選 出 で は、こ れ ま で 議 長 を 務 め た 大 瀧 氏 を 副 議 長 と し、新 た に 石 松 氏 を 議 長 に、大 川 達 也 氏（J R 西 労 組 米 子 地 本 執 行 委 員 長）を 事 務 局 長 に 選 出 し、新 た な 三 役 体 制 と す る こ と が 確 認 さ れ、石 松 新 議 長 の 団 結 ガ ン バ ロ ウ で 力 強 く 会 を 閉 じ た。